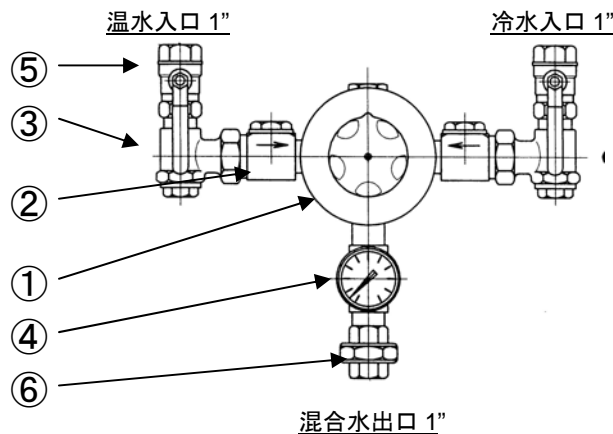


レオナード グループシャワー元制御用サーモスタット GUS-425 型取扱い説明書

■概要

グループシャワー元制御用サーモスタット GUS-425 型は温水と冷水を混合して適温水を製造し、多数のシャワーや手洗い水栓に供給するための Rada サーモスタットミキシングバルブユニットです。

■各部名称



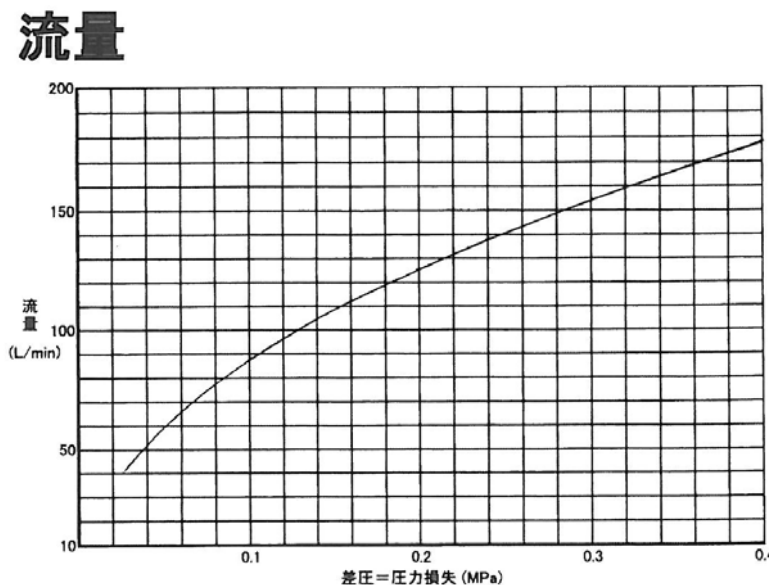
6	ユニオン
5	ボール弁
4	温度計
3	ストレーナー
2	逆止弁
1	RADA ミキシングバルブ
符号	名 称

■仕様

	GUS-425
最大流量(L/min)	200
最小流量(L/min)	8
最大静止時圧力(MPa)	1.0
最大使用差圧(MPa)	0.35
最小使用差圧(MPa)	0.01
給水/給湯圧力比	1 : 1(等圧)
最適温調範囲(°C)	35~46
最高給湯温度(°C)	85
最低給水温度(°C)	1
出湯温度と給湯、給水 各々の必要温度差(°C)	15

■流量

流量表を参照下さい。(流量表は給湯圧力、給水圧力が等しく、混合水温度が給湯温度と給水温度の中間程度で出口開放時(背圧ゼロ)における出湯量です)



■注意事項

- ・ 1日の使用時間は1～6時間程度を標準使用時間としています。
- ・ 水道水又は飲料に可能な井戸水をご使用下さい。温泉水はご使用になれません。
- ・ 給湯、給水圧力は同圧でご使用下さい。
- ・ 出湯温度と給湯、給水温度の差が15℃以下になると温調特性が低下し始めます。

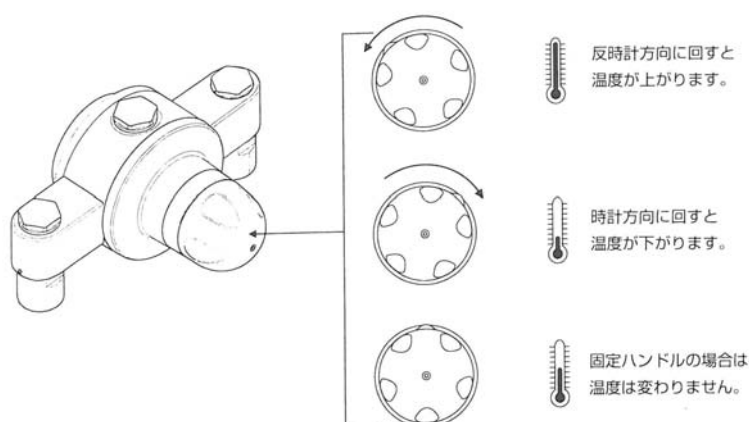
■設置方法

- ・ 取付け中は、ケガや製品の破損のないように充分注意して下さい。
- ・ ミキシングバルブユニットは、使用やメンテンスの行いやすい場所に設置して下さい。
- ・ メンテンスの為に、仕切弁を適切な場所に必ず取付けて下さい。
- ・ 漏水の可能性がありますが、防水・排水の設備のある箇所に取付け下さい。
- ・ ミキシングバルブユニットを取り付ける前に配管のフラッシングを十分行いゴミ等を取り除いて下さい。
- ・ ミキシングバルブユニットを垂直に取付けて下さい。水平に取付けられると温調が正しく制御できません。

■使用方法

- ・給湯,給水が所定の圧力、温度で供給されているか確認して下さい。
- ・ユニットの給水,給湯の元バルブ（ボールバルブ）を開いて下さい。
- ・温水使用箇所で温水を使用されると、ミキシングバルブで調温された温水が製造され、適温水が吐出します。
- ・温水（混合水）温度を上げるときにはミキシングバルブの温調ノブを反時計方向（左回し）に、下げるときは時計方向（右回し）に回して下さい。
温水出口の温度計を見ながら行って下さい。

標準温調ノブのモデルの場合、混合水温度は温調ノブを回すことで調整します。



■最高出湯温度の設定

- ・ミキシングバルブユニットに十分な給湯が行われているか、チェックして下さい。
給湯温度は必要な出湯温度より少なくとも15℃高いことが必要です。

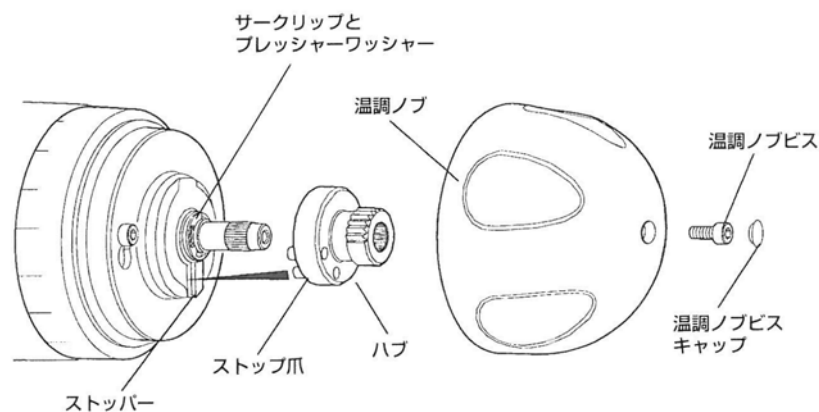


図-1

- ①給湯と給水の仕切弁が全開になっているか確認して下さい。
- ②温調ノブビスを外し、温調ノブを外して下さい。
- ③ハブを引き抜いて下さい。
(注意) スピンドル上のプレッシャーワッシャーはそのままにしておいて下さい。
- ④ハブを裏返しにしてスピンドルにはめ込み、必要な最高出湯温度が得られるまで反時計方向にゆっくり回して下さい。
もし、回しにくくなったらそれ以上回さないで下さい。無理に回すと内部部品を破損させる可能性があります。
- ⑤必要な最高温水温度が得られましたらハブをスピンドルからそっと抜き取り、裏返しにしてカバーの表のストッパーにハブの裏のストップ爪が当たってそれ以上反時計方向に回らない位置でハブをスピンドルに差し込んで下さい。
- ⑥ハブをゆっくりと時計方向に回し適温温水温度が得られるまで回し、温調ノブをハブの切り欠きに合うように取付け下さい。

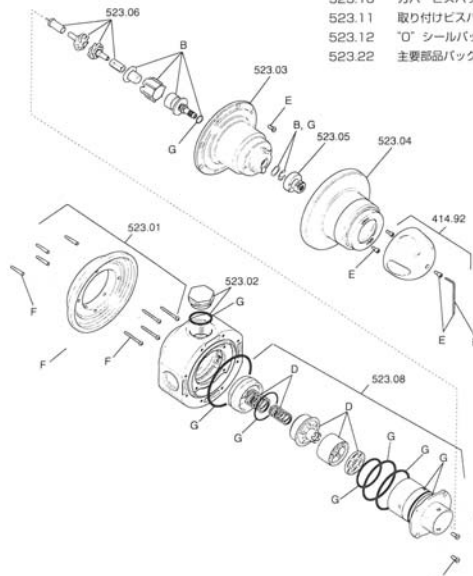
■メンテナンス

- ・ ミキシングバルブはカートリッジ式ですので、故障の場合はポートスリーブパックやサーモスタットパックを新替して頂くことになります。

スペアパーツ

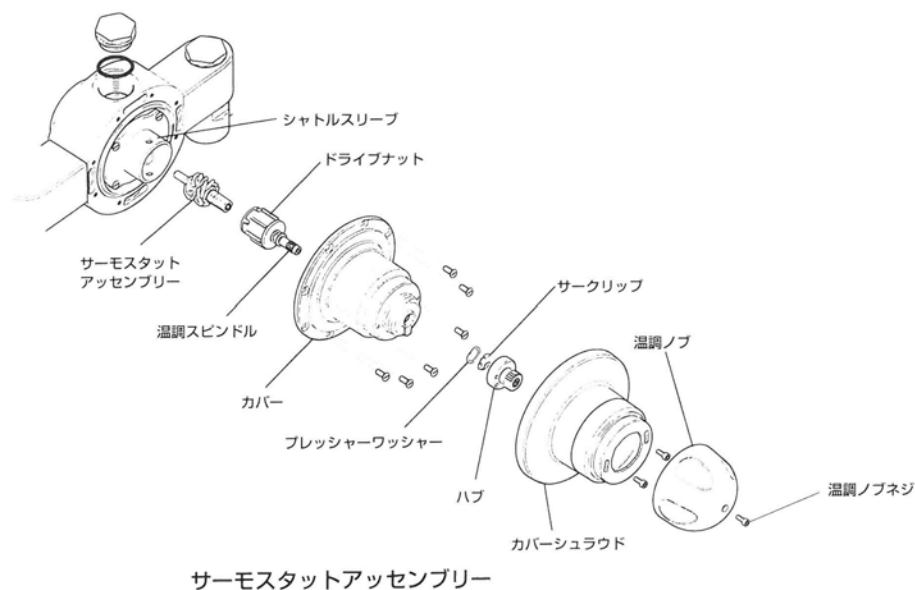
Rada 425 cf スペアパーツリスト

414.92	ノブバック	
523.01	バックプレートパック	
523.02	ドレンプラグ	
523.03	カバー	
523.04	カバーシュラウド	
523.05	ハブバック	
523.06	サーモスタットパック	
523.07	ドライブメカニズムパック-B	
523.08	ポートスリーブパック	
523.09	シャトルパック-D	
523.10	カバービスパック-E	
523.11	取り付けビスパック-F	
523.12	"O" シールパック-G	
523.22	主要部品パック:	523.06 サーマスタットパック
		523.09 シャトルパック
		523.12 "O" シールパック



＜サーモスタットアセンブリーの取り外し＞

- ① ミキシングバルブへの給湯・給水を止め、出口を開いて中に残った水を出して残圧を取り除いて下さい。
- ② 3mmの六角レンチを使って温調ノブ固定ネジを外し、温調ノブ、表示リング並びにハブを外して下さい。
- ③ カバーシュラウドを固定している2本のネジをゆるめ、カバーシュラウドを時計方向に回して外して下さい。
- ④ ハブ、サークリップ並びにプレッシャーワッシャーを外して下さい。
- ⑤ 8本のネジを外し、カバーを外して下さい。
(組立の時に元通りに組み立てられるように、カバーの上のストッパーの位置を確認して下さい。)
- ⑥ 温調スピンドルとドライブナットを外して下さい。
- ⑦ サーモスタットアセンブリーを外して下さい。



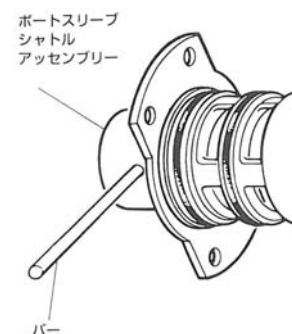
＜サーモスタットアセンブリーの再組立て＞

- ⑧ プッシュロット並びにサーモスタットアセンブリーをシャトルスリーブパックの中に収めて下さい。
- ⑨ ドライブナットと温調スピンドルをカバーの中に収めて下さい。
- ⑩ カバーを取り付けて下さい。カバーのストッパーが外した時と同じ位置になるように取り付けて下さい。
- ⑪ プレッシャーワッシャーを温調スピンドルに入れ、サークリップで固定して下さい。

- ⑫ハブを取り付ける前に、＜最高出湯温度の設定＞項を参照して温度調節して下さい。
- ⑬カバーシュラウドを取り付けて2本のビスで固定して下さい。
- ⑭温調ノブを取り付けネジで固定して下さい。

＜ポートスリーブの取り外し＞

- ①＜サーモスタットアッセンブリー取り外し＞項を参照してカバー並びにサーモスタットを外して下さい。
- ②ポートスリーブの4本のネジを外して下さい。
- ③ポートスリーブ前面の穴にバー（最大6φ）を差し込みひねりながらポートスリーブを引き抜いて下さい。



＜ポートスリーブの再組立て＞

- ④ミキシングバルブボディー内部は柔らかな布で清掃して下さい。
- ⑤各“O”リングには、付属のシリコングリスを使用して下さい。
- ⑥ポートスリーブをボディーに挿入し、4本のネジで固定して下さい。
- ⑦＜サーモスタットアッセンブリーの再組立て＞の項を参照してサーモスタットアッセンブリー並びカバーを取り付け下さい。

- ・ 逆止弁のシートに異物が付着したり、シートが破損した場合逆止弁は正常に働かなくなり、逆流を起こしてしまいます。

ミキシングバルブの給水入口の逆止弁の入口側が熱かったり、逆に給湯入口の逆止弁の入口側が冷たかったりする場合は逆流していると考えられます。

その場合は逆止弁のメンテナンスが必要です。

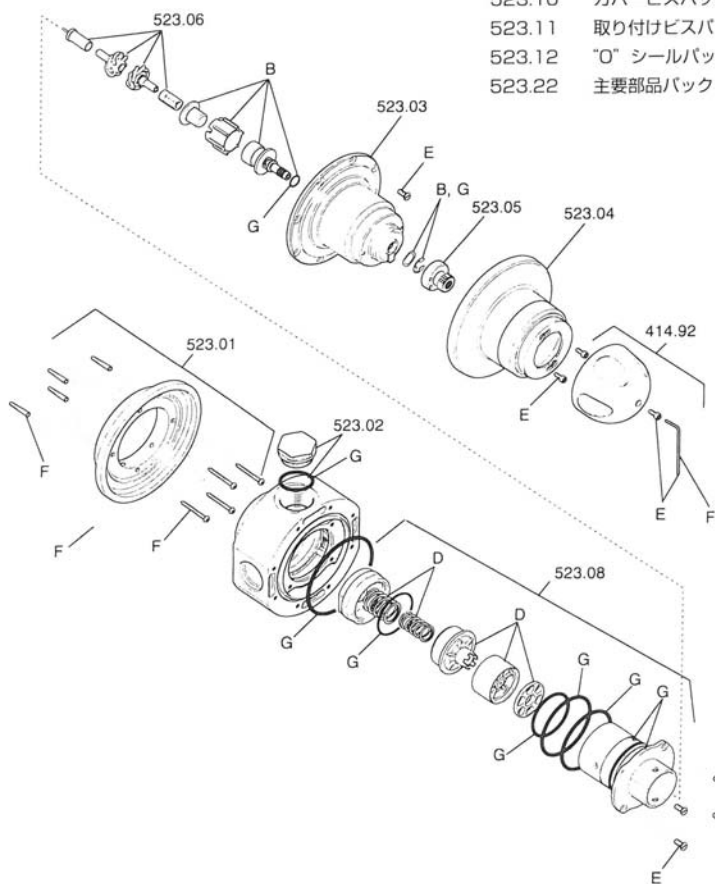
メンテナンスは下記の方法で行って下さい。

1. 給湯、給水の元バルブ（ボールバルブ）を閉じて下さい。
2. 逆止弁の頭の部分（キャップ）を外し、中の弁体（ケレップ）を取出し、シート面をチェックして下さい。又、ケレップの当り面（テフロン製）もチェックして下さい。各々付着物が付いていれば清掃して下さい。
3. 逆止弁のシート面にキズが入っていたら、逆止弁を交換することが必要です。又、ケレップのテフロン面が損傷している場合はテフロンシートを交換することが必要です。

スペアパーツ

Rada 425 cf スペアパーツリスト

414.92	ノブバック	
523.01	バックプレートバック	
523.02	ドレンプラグ	
523.03	カバー	
523.04	カバーシュラウド	
523.05	ハブバック	
523.06	サーモスタットバック	
523.07	ドライブメカニズムバック-B	
523.08	ボートスリーブバック	
523.09	シャトルバック-D	
523.10	カバービスバック-E	
523.11	取り付けビスバック-F	
523.12	"O" シールバック-G	
523.22	主要部品バック :	523.06 サーマスタットバック
		523.09 シャトルバック
		523.12 "O" シールバック



■メンテに関する連絡先

株式会社日本レオナード商会

大阪府豊中市浜2丁目 10-3

TEL : 06-6336-0321

フリーダイヤル : 0120-71-0321

LEONARD